

梅田建設(株)

山口市・建設業

従業員数 / 男性22名 女性6名 計28名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ① 定年後も活躍できる環境を提供
- ② サテライトオフィス活用などで所定外労働時間を削減
- ③ 新入社員やインターンシップ参加者への手厚いフォローアップ

長く働ける環境と若手への手厚いサポート

農業にも注力する梅田建設は、本社近隣に「美濃山県元氣ファーム」を開設。定年後も就労を希望する人たちの受け皿にもなっており、元社員で83歳の棚橋武司さんは2022年度まで農場長を務め、現在も農場で働いている。また、農場の職員の多くが地域の女性で、主に加工作業を担当。黒ニンニクや焼き芋

など、女性の視点が生かされた人気商品を生み出してきた。

家族の介護を担う社員が増加する状況を見据え、介護休業制度を利用しやすい職場風土づくりを推進。対象者が取得した際は希望を尊重し、職場復帰の準備期間としてパートタイムでの在宅勤務を認め、復帰を支援。現在は正社員として職場に復帰しており、モデルケースとなっている。

所定外労働時間削減にも取り組んでおり、現場で設置が可能な場合は、パソコンなどが使用できるサテライトオフィスを開設。現場監督全員がタブレットを持ち、写真アプリを活用することで、会社に帰らず現地で写真整理を行えるようにした。

社員定着のために、新入社員にはマンツーマンで支援する体制を構築。インターンシップに参加する学生に

は手厚くフォローアップを行っている。インターンシップを経て入社した新入社員の小森瑠惟さんは「社内の雰囲気は良くてここで働きたいと感じた。実際に入社してみても、ここで働き続けたいと思っている」と話す。また、法定を上回る育児制度を設けており、10年から23年で女性社員の出産・育児による離職率は0%で、産休・育休の取得率は100%を維持している。



インターンシップを経て社内の雰囲気の良さに惹かれて入社を決めた小森瑠惟さん(写真左)。



作業現場にパソコンなどが使用できるサテライトオフィスを開設することで所定外労働時間の削減を図る。